

2025年6月11日

2024年度事業報告書

(一社) 全日本テコンドー協会

I 当協会の組織

1. 役員及び正会員（法人法上の社員）

(1) 正会員及び正・準加盟団体（2025年3月31日時点）

①正加盟団体及び正会員

1	宮城県	推薦なし
2	山形県	菅原 章文
3	栃木県	吉田 寛
4	埼玉県	鳥越 恒一
5	千葉県	金 容星
6	東京都	友野 寿美
7	神奈川県	姜 炫淳
8	山梨県	小泉 秀一
9	長野県	金原 貴将
10	岐阜県	福富 秀幸
11	愛知県	山田 啓悟
12	京都府	川端 徳久
13	大阪府	山下 博将
14	奈良県	阪口 朗
15	兵庫県	門野 真
16	香川県	中谷 信彦
17	福岡県	朴 龍基
18	佐賀県	牟田 靖文
19	長崎県	瀬尾 健一
20	熊本県	西村 紀幸
21	大分県	長野 修士
22	準加盟移行	(茨城) 小林 守

②準加盟団体

- 1 北海道協会
- 2 岩手県協会
- 3 茨城県協会
- 4 新潟県協会
- 5 石川県協会
- 6 滋賀県協会
- 7 三重県協会
- 8 愛媛県協会

(2) 理事・監事

1	会長	川原 貴
2	副会長	田邊 陽子
3	専務理事	岸 郁子
4	常務理事	須永 功
5	常務理事	山本 衛
6	常務理事	長野 修士
7	理事	栳沢 保男
8	理事	片上 千恵
9	理事	藤原 清香
10	理事	山田 啓悟
11	理事	鳥越 恒一
12	理事	吉田 成
13	監事	戸谷 由布子

2. 専門委員会 2025 年 3 月末日時点で HP 掲載のとおり

3. 会員及び加盟団体

(1) 会員の状況

個人会員 1795 名（2025 年 3 月末日現在）（昨年度 1799 名）

審判登録 61 名（同上）（昨年度 69 名）

(2) 加盟団体・準加盟団体

加盟団体 21 団体

準加盟団体 7 団体

（1. (1) のとおり）

II 正会員総会・理事会の開催状況

1. 正会員総会

(1) 2024 年 6 月 29 日

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び決算の承認について

第 2 号議案 準加盟の承認について（愛媛県）

第 3 号議案 正会員の選任について（山下博将）

第 4 号議案 定款変更について（第 55 条）

(2) 2025 年 2 月 2 日

第 1 号議案 準加盟の承認について（茨城県）

第 2 号議案 会費の改定について

2. 理事会等

1 4月22日 経営会議

1	アジア選手権代表選手選考について
2	2024年度強化指定選手の追加選考について（パラ）
3	JSC アスリート助成の対象者について
4	オープン大会の後援について
5	経営基盤の強化・安定に向けた取組に関する確認シートの提出について

2 5月21日 経営会議

1	パラリンピック バイパルタイト選手の承認について
2	パラリンピック 選手団役員（監督・コーチ等）の承認について
3	全日本ジュニア選手権の開催について
4	世界ジュニア選手権日本代表選考基準について
5	強化指定選手 SS クラス選考基準について
6	強化委員長選任について

3 6月11日 理事会

1	決算、事業報告について
2	2024補正予算について
3	正会員総会の招集について
4	オープン大会後援について

4 7月19日 経営会議

1	学生選手権、社会人・マスターズ選手権の開催について
2	ガバナンスコード適合性審査への提出資料について

5 8月23日 経営会議

1	全日本ブムセの開催について
2	2025年度ブムセ各種選考基準について
3	ヴァーチャルテコンドー 日本代表選考会について

6 9月27日 理事会

1	経営会議審議事項の報告と追認
2	第1回デフブムセ大会の開催について
3	知的障がい者連盟への加盟
	スポーツキャリアサポートコンソーシアムへの加盟
4	学連委員会の委員について

5	旅費規程について
6	専門委員会委員等である理事への謝金について
7	昇段委員会の名称について

7 10月18日 経営会議

1	各種選考基準の承認
	オリ・キョルギ シニア強化指定選手
	世界選手権代表（2025）
	パラ 強化指定選手
	次世代育成
2	全日本選手権の開催
3	全日本選手権の宿泊費について（旅費規程に基づく理事会承認）
4	医科学委員の追加
	スポーツキャリアサポートコンソーシアムへの加盟
5	オープン大会の公認
6	デフリンピックに関する東京都スポーツ事業団との協定
7	11月16、17日ヴァーチャルテコンドー世界選手権 日本代表選手の選考について
8	日本スポーツ大賞、パラスポーツ大賞の推薦について

8 11月22日 経営会議

9 12月20日 理事会

1	選手選考について
	2025 シニア強化指定選手
	JOC オリンピック強化指定選手、ネクスト強化指定選手
	2025 世界選手権代表
2	オープン大会の後援について
3	JOC の理事者候補推薦について（1月28日提出期限・推薦なし）
4	ヴァーチャル委員会の設置について
5	正会員役員候補者推薦規程の改定について（委員構成の変更）
6	JSC 令和5年度事業実態調査 改善方策提出（1月24日期限）

10 1月17日 理事会

1	会費の改定について
2	総会の招集について
3	昇段昇級規程の改訂について（第一段階）

4	各種選考基準
	・ワールドユニバーシティゲームズ
	・世界カデット
	・アジアジュニア
	・2025 年度ジュニアカデット強化指定選手
5	少年少女選抜選手権大会の実施について
6	2025 年度専任コーチの推薦について
7	役員候補者推薦委員会の選任について

11 2 月 21 日 経営会議

1	世界選手権日本代表の追加選考について
2	2025 年度パラ専任コーチの推薦について
3	2025 年度全日本協会主催大会の日程について

12 3 月 27 日 理事会

1	2 月経営会議の承認事項の追認について
2	会員規程の改定について
3	審判員規程の改定について
4	2025 強化指定選手（キョルギ・ジュニアカデット、プムセ、パラ）の選考について
5	2025JOC 専任コーチの推薦について
6	2025 デフリンピック 代表候補選手の選考について
7	2025 東西地区大会の開催について
8	昇段審査料の改定と、改定後料金の適用時期の変更について
9	質問状への回答について
10	中長期計画について
11	2025 予算と事業計画について

III 実施した事業

【2024 年度振り返り】

1. 専門委員会委員長会議を定期的実施し、そこでの討議を踏まえ、当協会のミッションをもとに、中長期計画を策定した。
策定にあたっては、一部、日本財団パラスポーツサポートセンターの助成を受けた。

【専門委員会委員長会議】

1. 2024 年 4 月 1 日 20 時～

2. 同 5 月 27 日 20 時～
3. 同 7 月 1 日 20 時～
4. 同 8 月 21 日 20 時～
5. 同 10 月 9 日 20 時～
6. 同 11 月 6 日 20 時～
7. 同 11 月 27 日 20 時～
8. 同 12 月 23 日 20 時～
9. 2025 年 1 月 22 日 20 時～
10. 同 2 月 10 日 20 時～
11. 同 3 月 11 日 20 時～

1. 強化事業（強化本部・強化委員会）

（1）会議の実施

1）強化委員会

（1）第 1 回目 日時：2024 年 4 月 14 日

1. 世界ジュニア選手大会選考合宿について
2. 2024 春川国際オープン遠征について
3. デフリンピックについて

（2）第 2 回目 日時：2024 年 5 月 25 日

1. 強化指定選考基準について
2. 9 月スケジュールについて
3. アジア選手権大会の振り返りについて
4. コーチ力強化について
5. 9 月のシニア合宿について
6. オーストラリア遠征について
7. 大会報告書について

（3）第 3 回目 日時：2024 年 6 月 5 日

1. オクタゴン大会について
2. 7 月～9 月遠征スケジュールについて

（4）第 4 回目 日時：2024 年 7 月 26 日

1. 7 月遠征の振り返り
2. 8 月～9 月スケジュールについて
3. 選考基準について

(5) 第 5 回目 日時：2024 年 8 月 20 日

1. 選考基準について
2. 9 月遠征、合宿スケジュールについて

(6) 第 6 回目 日時：2024 年 9 月 5 日

1. ユニバーシアード競技日本代表選考基準について
2. 2025 シニア強化指定選手、世界選手権大会日本代表選出について
3. 選考基準について
4. ユニバーシアード競技日本代表選考会について
5. 強化体制について
6. デフオリンピック担当について

(7) 第 7 回目 日時：2024 年 9 月 18 日

1. 2025 強化指定選手基準（シニア）について

(8) 第 8 回目 日時：2024 年 10 月 10 日

1. 1 月～3 月の大会、合宿スケジュールについて
2. 2024 次世代国内合宿②について
3. 選考基準について
4. ユニバーシアード競技日本代表選考会について

(9) 第 9 回目 日時：2024 年 10 月 18 日

1. 11 月～12 月の大会、合宿スケジュールについて
2. 日本スポーツ賞推薦者について

(10) 第 10 回目 日時：2024 年 11 月 3 日

1. 協働コンサル資料について

(11) 第 11 回目 日時：2024 年 12 月 5 日

1. ユニバーシアード選考会について
2. 選考基準について
3. 1～3 月スケジュールについて

(12) 第 12 回目 日時：2025 年 1 月 11 日

1. 選考基準書類確認
2. 3 月事業スケジュール確認

(13) 第 13 回目 日時：2025 年 2 月 21 日

1. ユニバーシアード選考会要項について
2. 世界選手権追加選考について

(14) 第 14 回目 日時：2025 年 3 月 19 日

1. 強化戦略プランについて

2) 強化本部

(1) 第 1 回目 日時：2024 年 4 月 22 日

1. 世界学生フェスティバル大会について
2. 2024 春川国際オープン大会について
3. 選手体重管理について
4. 選手に対しての専属トレーナーについて

(2) 第 2 回目 日時：2024 年 5 月 9 日

1. 世界ジュニア選手権大会日本代表選考基準
2. SS クラス合宿について
3. 世界学生フェスおよび春川国際オープン大会について
4. パラの推薦について
5. トレーナー経費について

(3) 第 3 回目 日時：2024 年 5 月 21 日

1. 世界ジュニア選手権大会日本代表選考基準
2. SS クラス合宿について
3. 選考合宿について
4. 巡回トレーニングについて

(4) 第 4 回目 日時：2024 年 6 月 3 日

1. 春川国際オープン大会について
2. ATU セミナーについて
3. アジア選手権大会振り返りにについて
4. ロス→ブリスベンに向けての対策
5. 中長期計画について

(5) 第 5 回目 日時：2024 年 8 月 12 日

1. 韓国コーチトレーニングについて
2. オーストラリア遠征日程変更について
3. 世界ジュニア代表選手について
4. 事業計画について

5. SS 国内合宿について
6. 強化チーム体制について
7. バーチャルテコンドーを推進、世界大会（男女8名）出場について

(6) 第6回目 日時：2024年9月4日

1. 世界プムセ選手権大会派遣について
2. デフトライアルプムセについて
3. ATU セミナーについて
4. パラ事業について

(7) 第7回目 日時：2024年9月11日

1. 世界選手権大会基準について
2. 2025 強化指定選手選考基準について
3. ATU セミナーについて
4. パリパラ文科大臣顕彰について
5. 世界プムセ選手権大会派遣について
6. 協働コンサルティングについて

(8) 第8回目 日時：2024年10月2日

1. 中期戦略（4年）プランについて
2. 長期戦略（8年）プランについて
3. 強化指定選手基準（SS）について
4. コーチ/トレーナーについて

(9) 第9回目 日時：2024年10月14日

1. パラキョルギ強化指定選手選考基準について
2. 次世代合宿②（カデット）について
3. ATU セミナーについて

(10) 第10回目 日時：2024年10月21日

1. 協働コンサル資料について

(11) 第11回目 日時：2024年10月30日

1. 協働コンサル資料について

(12) 第12回目 日時：2024年11月11日

1. 協働コンサル資料について

(13) 第 13 回目 日時：2024 年 11 月 25 日

1. 協働コンサル事前資料確認
2. 承認事項確認

(14) 第 14 回目 日時：2024 年 12 月 11 日

1. 四半期について
2. 承認事項確認

(15) 第 15 回目 日時：2024 年 12 月 23 日

1. 3 月遠征/合宿スケジュール
2. 承認事項確認
3. 2025 年度次世代強化指定選手選考基準
4. 4 月選考会について

(16) 第 16 回目 日時：2025 年 1 月 13 日

1. ユニバーシアード選考基準確認
2. 世界カデット、アジアジュニア、アジアカデット選考基準確認
3. 3 月合宿スケジュール確認

(17) 第 17 回目 日時：2025 年 1 月 23 日

1. 次年度事業計画について
2. 承認事項確認

(18) 第 18 回目 日時：2025 年 2 月 12 日

1. 世界選手権大会追加選考について
2. パラコーチ設置事業について
3. 戦略プランについて

(19) 第 19 回目 日時：2025 年 2 月 19 日

1. ユニバ、世界カデット、アジアジュニア、アジアカデットの選考会要項について
2. 戦略プラン作成
3. 4 県からの質問について

(20) 第 20 回目 日時：2025 年 2 月 27 日

1. 戦略プラン作成について
2. 大阪府テコンドー協会からの質問について

(21) 第 21 回目 日時：2025 年 3 月 14 日

1. GPC 派遣方針
2. プレジデント Cup 参加
3. JOC ネクスト強化選手
4. プムセ 2025 強化指定選手
5. 2025 年度キョルギ次世代強化指定選

(22) 第 22 回目 日時：2025 年 3 月 20 日

1. 強化戦略プランについて

(2) 強化活動

シニア・ジュニアのキョルギ・プムセの活動は、JOC 令和 6 年度選手強化 NF 事業補助金を受けて、パラの活動は、JPC 令和 6 年度競技力向上事業補助金を受けて実施した。

1) オリキョルギ (シニア)

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2024 年 11 月 2 日～11 月 4 日	2024 年シニア国内強化合宿①	6	13	19
2025 年 3 月 8 日～03 月 10 日	2024 年シニア国内強化合宿②	4	8	12
2024 年 6 月 20 日～06 月 25 日	SS 国内合宿①	2	2	4
2024 年 8 月 01 日～08 月 06 日	SS 国内合宿②	2	2	4
2024 年 9 月 11 日～09 月 14 日	SS 国内合宿③	2	2	4
2024 年 11 月 7 日～11 月 12 日	SS 国内合宿④	2	2	4
2025 年 1 月 23 日～1 月 28 日	SS 国内合宿⑤	2	2	4

2) キョルギ・ジュニアカデット

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2024 年 7 月 11 日～7 月 15 日	春川国際オープン大会 (ジュニア／カデット)	10	38	48
2024 年 8 月 6 日～8 月 9 日	2024 年次世代国内強化合宿①	12	26	38
2024 年 9 月 20 日～9 月 28 日	2024 世界ジュニア直前合宿	5	9	14
2024 年 9 月 29 日～10 月 7 日	2024 世界ジュニア選手権大会	5	9	14
2024 年 12 月 24 日～12 月 27 日	2024 年次世代国内強化合宿②	5	17	22
2025 年 1 月 18 日～1 月 27 日	海外合宿①(韓国)	3	4	7
2025 年 2 月 4 日～2 月 18 日	海外遠征(次世代)	3	5	8
2025 年 3 月 8 日～3 月 10 日	2024 年次世代国内強化合宿③	8	29	37

3) プムセ

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2024 年 4 月 27 日～4 月 29 日	2024 プムセ国内強化合宿①／ 韓国コーチトレーニング① (コーチ力強化事業 2 名招聘)	5	22	27
2024 年 9 月 19 日～9 月 23 日	2024 プムセ国内強化合宿② (ATU コーチング) (ATU よりコーチ 6 名派遣)	5	23	28
2024 年 11 月 8 日～11 月 10 日	韓国コーチトレーニング② (コーチ力強化事業 1 名招聘)	1	6	7
2025 年 1 月 24 日～1 月 27 日	2024 プムセ国内強化合宿③／ 韓国コーチトレーニング③ (コーチ力強化事業 3 名招聘)	5	19	24

4) パラキョルギ

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2024 年 4 月 6 日～4 月 7 日	第 1 回強化合宿	6	9	15
2024 年 5 月 9 日～5 月 12 日	第 1 回パラリンピック強化合宿	10	4	14
2024 年 6 月 9 日～6 月 12 日	第 2 回パラリンピック強化合宿	10	4	14
2024 年 7 月 12 日～7 月 15 日	第 3 回パラリンピック強化合宿	10	4	14
2024 年 7 月 26 日～7 月 29 日	第 4 回パラリンピック強化合宿	10	4	14
2024 年 8 月 16 日～8 月 22 日	第 5 回パラリンピック強化合	10	4	14
2024 年 9 月 13 日～9 月 15 日	第 2 回強化合宿	8	5	13
2024 年 11 月 22 日～11 月 25 日	第 3 回強化合宿	7	8	15
2025 年 2 月 21 日～2 月 24 日	第 4 回強化合宿	7	7	14
2025 年 3 月 16 日～3 月 18 日	イギリス遠征事前合宿	7	7	14

5) パラ次世代

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2024 年 4 月 22 日～4 月 28 日	第 1 回次世代育成合宿	1	3	4
2024 年 5 月 8 日～5 月 14 日	第 2 回次世代育成合宿	1	3	4
2024 年 9 月 13 日～9 月 16 日	第 3 回次世代育成合宿	1	2	3
2024 年 10 月 7 日～10 月 11 日	第 4 回次世代育成合宿	1	1	2
2024 年 10 月 22 日～10 月 27 日	第 5 回次世代育成合宿	1	2	3
2024 年 11 月 4 日～11 月 10 日	第 6 回次世代育成合宿	1	2	3
2024 年 11 月 22 日～11 月 25 日	第 7 回次世代育成合宿	1	1	2

6) コーチ力強化

① コーチ派遣

NF強化委員として国際大会に帯同し、プムセの強豪国、選手のレベル及び日本選手との差や違いを確認する他、各国監督、コーチから有意義な情報（評点のポイント・主流や練習方法、選手情報等）を得ることを目的とする。

ベトナム遠征コーチ派遣(2024年5月12日～5月19日) 2名

韓国遠征コーチ派遣(2024年7月2日～7月15日) 3名

オーストラリア遠征コーチ派遣(2024年9月16日～9月22日) 1名

世界ジュニア遠征視察(2024年9月20日～10月7日) 1名

海外遠征（ヨーロッパ）コーチ派遣(2025年3月4日～3月17日) 2名

SS海外遠征派遣(2025年02月05日～02月11日) 1名

②WT コーチライセンス取得セミナー派遣

国際大会でコーチにつくにはWTコーチライセンス所持が必須であるため、ライセンス未取得の専任コーチを派遣した。

(3) 国際大会派遣

1) キョルギ

①実施した事業：第26回アジアテコンドー選手権大会派遣

期間：2024年5月12日～5月19日

スタッフ数：2人

参加者数：8人

実施内容：大会派遣

②実施した事業：2024世界学生フェスティバル派遣

期間：2024年7月2日～7月7日

スタッフ数：0人

参加者数：8人

実施内容：大会派遣

岡本留佳-46kg級1位

岡崎陽向-46kg級2位

加藤柚帆-53kg級1位

西田茉央-57kg級1位

大原隆世-54kg級3位

前田秀隆-63kg級1位

鶴岡人 -63kg級3位

岩城海翔-68kg級2位

③実施した事業：2024 春川国際オープン大会 派遣

期間：2024 年 7 月 6 日～7 月 12 日

スタッフ数：4 人

参加者数：20 人

実施内容：大会派遣

岡本留佳-46kg 級 1 位 ※女子 MVP 獲得

前田秀隆-63kg 級 2 位

④実施した事業：オーストラリア遠征 派遣

期間：2024 年 9 月 16 日～9 月 22 日

スタッフ数：2 人

参加者数：6 人

実施内容：大会派遣（2 大会出場）

岡崎陽向-46kg 級 2 位

加藤柚帆-53kg 級 2 位

岩城海翔-68kg 級 1 位、3 位

⑤実施した事業：海外遠征 派遣

期間：2025 年 3 月 4 日～3 月 18 日

スタッフ数：2 人

参加者数：10 人

実施内容：大会派遣（2 大会出場）

岡崎陽向-46kg 級 2 位、3 位

岡本留佳-46kg 級 3 位

加藤柚帆-53kg 級 1 位

西田茉央-57kg 級 3 位

⑥実施した事業：SS 海外遠征 派遣

期間：2025 年 2 月 5 日～2 月 11 日

スタッフ数：1 人

参加者数：2 人

実施内容：大会派遣（カナダオープン）

岡崎陽向-46kg 級 3 位

2) キョルギ(次世代)

①実施した事業：春川国際オープン大会(ジュニア／カデット) 派遣

期間：2024 年 7 月 11 日～7 月 15 日

スタッフ数：10 人

参加者数： 38 人

実施内容：大会派遣

野谷芽愛 カデット女子-37kg 級 1 位

岡本千佳 カデット女子-41kg 級 1 位

加藤崇真 カデット男子-41kg 級 3 位

小泉海翔 カデット男子-57kg 級 3 位

青木仁美 ジュニア女子-49kg 級 3 位

村田りらアルディアン ジュニア女子-55kg 級 3 位

②実施した事業：2024 世界ジュニア選手権大会 派遣

期間：2024 年 9 月 29 日～10 月 7 日

スタッフ数：5 人

参加者数： 9 人

実施内容：大会派遣

③実施した事業：海外遠征(次世代) 派遣

期間：2025 年 2 月 4 日～2 月 18 日

スタッフ数：3 人

参加者数： 5 人

実施内容：大会派遣 (2 大会出場)

【カナダオープン】

大新田桜 ジュニア女子-49kg 級 1 位

芹澤美佳 ジュニア女子-46kg 級 3 位

河合利亜斗 ジュニア男子-45kg 級 3 位

【US オープン】

河合利亜斗 ジュニア男子-45kg 級 3 位

3) プムセ

① 実施した事業：第 8 回アジアプムセ選手権大会

期間：2024 年 5 月 12 日 (日) ～5 月 17 日 (金)

スタッフ数：3 人

参加者数：10 人

実施内容：大会派遣

◎U50 女子規定 田島 宏美 6 位

◎U60 男子規定 石原 範和 5 位

◎U60 女子規定 太田 博子 3 位

◎O65 女子規定 瀧澤 幸子 3 位

◎フリースタイル O17 男子 柳 優海 5 位

◎フリースタイル O17 女子丹羽 結子 7 位

◎フリースタイル・O17 ペア 柳 優海、丹羽 結子 6 位

② 実施した事業：2024 世界学生フェスティバル（プムセ）

期間：2024 年 7 月 4 日（木）～2024 年 7 月 8 日（月）

スタッフ数：1 人

参加者数：3 人

実施内容：大会派遣

◎U30 男子個人規定 鈴木飛安 R64 敗退（VS 韓国体育大学）

◎U30 女子個人規定 丹羽結子 R64 敗退（VS 韓国体育大学）

◎O17 男子個人フリースタイル 柳 優海 予選敗退（A グループ 8 位）

③ 実施した事業：2024 春川国際オープン大会（プムセ）

期間：2024 年 7 月 7 日（日）～2024 年 7 月 15 日（月）

スタッフ数：4 人

参加者数：21 人

実施内容：大会派遣

◎U40 女子規定 原田 奈緒 2 位

◎カデット女子規定 大野 富結 2 位

◎U60 女子規定 太田 博子 2 位

◎ジュニア女子規定 佐藤 妃那子 3 位

◎U50 女子規定 田島 宏美 3 位

◎O65 女子規定 瀧澤 幸子 3 位

◎フリースタイル O17 女子 丹羽 結子 5 位

◎フリースタイル O17 男子 稗島 琉斗 8 位

※入賞者のみ記載。

④ 実施した事業：2024 世界プムセ選手権大会

期間：2024 年 11 月 27 日（水）～2024 年 12 月 5 日（木）

スタッフ数：4 人

参加者数：14 人

実施内容：大会派遣

◎カデット男子規定 汐崎 然 3 位

◎O65 女子規定 瀧澤 幸子 3 位

◎U60 ペア規定 石原 範和・太田 博子 3 位

◎カデットペア規定 汐崎 然・大野 富結 5 位

◎U60 男子規定 石原 範和 5 位

◎フリースタイル O17 女子 丹羽 結子 6 位

※入賞者のみ記載。

4) パラ

① 実施した事業：9th Asian Para Taekwondo Open Championships 派遣

期間：2024 年 5 月 16 日～5 月 20 日(4 泊 5 日)

スタッフ数：2 人

参加者数：2 人

実施内容：大会派遣

◎-58 kg級 9 位 田中光哉、-70 kg級 5 位 工藤俊介 5 位

② 実施した事業：2024 World Para Taekwondo Open Challenge 派遣

期間：2024 年 7 月 2 日～7 月 6 日(4 泊 5 日)

スタッフ数：2 人

参加者数：2 人

実施内容：大会派遣

◎-58 kg級 5 位 田中光哉、-70 kg級 5 位 工藤俊介

③ 実施した事業：パリ 2024 パラリンピック派遣

期間：2024 年 8 月 24 日～9 月 3 日(10 泊 11 日)

スタッフ数：2 人

参加者数：4 人

実施内容：大会派遣

-58 kg級 7 位 田中光哉

-70 kg級 5 位 工藤俊介

④ 実施した事業：オーストラリア遠征 ※2 大会出場

期間：2024 年 9 月 16 日～9 月 23 日(7 泊 8 日)

スタッフ数：2 人

参加者数：3 人

実施内容：大会派遣

■2024 WT President's Cup Oceania

◎-58kg 級 1 位 阿渡健太、-63kg 級 2 位 原田涼平、-63kg 級 3 位 福富伸彦

■2024 Australia Open Para Taekwondo

◎-58kg 級 2 位 阿渡健太、-63kg 級 1 位 原田涼平、-63kg 級 3 位 福富伸彦

⑤ 実施した事業：British International Open 2025 Para Taekwondo 派遣

期間：2025 年 3 月 19 日～3 月 25 日(6 泊 7 日)

スタッフ数：3 人

参加者数：4 人

実施内容：大会派遣

【男子】

◎-58 kg級 3 位 阿渡健太、-63 kg級 1 位 原田涼平、-70 kg級 1 位 工藤俊介

【女子】

◎-52 kg級 2 位 大津恵美子

⑥ 実施した事業：9th Asia Para Taekwondo Open Championship ※次世代

期間：2024 年 9 月 6 日～9 月 12 日(6 泊 7 日)

スタッフ数：1 人

参加者数：3 人

実施内容：大会派遣

【男子】

◎-58 kg級 9 位 市川青空、-80 kg級 9 位重元 夏、

【女子】

◎-47 kg級 5 位 市川 桃

(5) J-star 事業 (パラ)

JSC のジャパン・ライジング・スター・プロジェクトにつき、JPC から委託を受けて 2021 年度から参加している。

今年度は、選手たちとミーティングを行った上で、国内合宿と（所属）訪問を実施した。

① 合宿

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2024 年 10 月 25 日～10 月 28 日	第 1 回中央合宿 (8 期生)	2	3	5
2024 年 11 月 10 日～11 日	第 2 回中央合宿 (8 期生)	2	3	5
2024 年 11 月 16 日～17 日	第 3 回中央合宿 (8 期生)	2	3	5
2024 年 11 月 23 日～24 日	第 4 回中央合宿 (8 期生)	2	3	5
2025 年 1 月 25 日～1 月 26 日	第 5 回中央合宿 (8 期生)	2	3	5
2025 年 1 月 31 日～2 月 6 日	第 6 回中央合宿 (8 期生)	2	3	5

② 居住地（所属）訪問

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2025 年 1 月 29 日	愛知県漢塾	1	1	2
2025 年 2 月 11 日	山梨テコンドーアカデミー	1	1	2

(6) 総括・その他

【シニアキョルギ】

カデット・ジュニア期からの育成を重点的に行った結果、国内、国際大会共に競技成績が向上し、土台作りの成果が着実に出てきている。

過去遠征から比較し、選手の成長を感じる機会も多くあり、基本的なことだが能動的にそれぞれが実行していく姿勢は今後に期待出来る。

また、SS クラスの強化も成果が見え、結果として、女子のみがメダルを獲得した今遠征は、男子にとっては悔しいものとなったが、10 月の世界選手権に向けては今回の課題を修正する非常に良い遠征になったと実感している。女子についても同じく課題解決に取り組むが、好発進の現状も活かせるように鼓舞しつつ男子同様 10 月の世界選手権でベストを尽くせるように取り組んでいく。

海外遠征では朝食のみしか提供がないことや、公式シャトルバスが組織委員会によって手配されていないことはよくある状況だったが、周辺の環境を活用して柔軟に対応できた点は、これまでの海外経験が生きた成果であると感じた。オランダでは過去も宿泊したホテルを手配し、周辺施設や状況を理解した上で行動できたため、ストレスが少なく環境としては非常に良い物であった。2026 年のアジア競技大会のメダル獲得と 2028 年のロスオリンピック入賞に向けて、所属との連携を密にして、引き続きコーチ力の向上と選手の強化を図る。

【次世代キョルギ】

キョルギ競技(次世代)においては、今年度最大規模のイベントは世界ジュニア選手権大会であった。世界ジュニア選手権大会が韓国で開催されたことから、韓国人コーチらの計らいにより、韓国代表チームとの合同直前合宿の機会を頂けた。本場韓国での練習は非常に実りあるものであった。世界ジュニア本戦では、前回大会の銅メダル(岡本留佳選手)に続くメダル獲得を目標としていたが、最高成績はベスト 16 が 3 名という結果であった。

今回、初代表に選出された選手、カデットからジュニアに上がった選手と、まだジュニア大会での経験が不足している点が今後の課題となった。

海外オープン大会ではコリアオープン、カナダオープン、US オープンの 3 大会に出場し、金メダル 3 個、銅メダル 7 個の結果であった。特にコリアオープン遠征では、全強化指定選手を対象とした遠征であった為、殆んどが海外大会初出場の選手が多く、選手にとって大きな経験となった。カナダオープン、US オープン前の韓国合宿では、1 月のシーズンは大会が無い為、各地域ごとに集まりキョルギ合宿をしていることから、韓国人コーチの計らいで参加させて頂けたのは、カナダ、us オープン前の準備期間として良い合宿となった。

2025 年は世界カデット選手権大会、アジアジュニア・カデット選手権大会、アジアユース競技大会と公式大会が多く控えている。いずれもメダル獲得に向けて直前合宿からしっかりと準備を行ない、2032 年ブリスベン五輪メダル獲得と言う目標に繋がられるように強化を行っていく。

【プムセ】

限られた予算のなかでの工夫として、近年は韓国から現役の国家代表クラスの選手や世界選手権大会での優勝経験、世界選手権大会ナショナルコーチ経験のあるコーチを招聘して国内強化合宿を継続的に実施し、正確性の上にスピードとパワーの積み上げ、なおかつ所属先に戻ってからも継続できるメニュー等を選手とコーチ陣が一丸となって学習してきた。また代表級の選手については韓国に留学して質の高いトレーニングができていた選手もあり、また個人でも韓国へたびたび渡航し、規定プムセ・フリースタイルプムセ両面の研鑽に力を入れている選手もあった。

2023 年の杭州アジア競技大会において日本のプムセ競技史上初めてとなる 2 位・銀メダル獲得という好成績を挙げたところであったが、2024 年はアジアプムセ選手権大会（ベトナム・ダナン）において 3 位・銅メダルが二人、入賞も多数であったし、世界プムセ選手権大会（中国・香港）においては個人で 3 位・銅メダルが二人、ペアでも 3 位・銅メダル獲得と、一定の成果を上げることができた。特にハイレベルな激戦を勝ち進んだカデット男子の銅メダルは評価されるべきと考える。世界においてもアジアにおいても日本は強い国、プムセのうまい国になりつつある。方や、WT のランキングが設定される U30・U40 のカテゴリでは世界のレベルが上がっていることもあるが、なかなか上位に食い込むことができない。この点は日本チーム現状の課題でもある。2025 年にはアジアジュニア・カデットプムセ選手権、ドイツ・ラインルールでのユニバシティゲームスが控えている。これらの大会でもメダル獲得を目指すとともに、来る 2026 年愛知・アジア競技大会へとつながるよう、無駄なく最善の強化活動を行なっていきたいと考える。

【パラ】

パラリンピックイヤーということもあり、年度の前半はパラリンピック代表選手の 2 名（田中光哉、工藤俊介）の強化に重点を置いた。他強化指定選手、サポートスタッフの協力のおかげもあり、考えうる限り最高の準備ができた。

本大会では、選手たちも間違いなく過去最高のパフォーマンスを発揮した。その上で、最終順位は工藤俊介が 5 位、田中光哉が 7 位とそれぞれ蹴り 1 つ分の点差でメダルには届かずメダリストとの地力の差、テクニックの引き出しの差、執念の差を感じた。

年度の後半は、4 年後のロサンゼルスパラリンピックを見据えた強化をスタートした。その中で、2028 年のロサンゼルス、2032 年のブリスベンでの活躍を期待できる 20 代の原田涼平選手が 2 大会で金メダル、1 大会で銀メダルと結果を出し始めたのは明るい材料である。

また、パラリンピックを見据えて行った JISS-NX を利用しての映像分析は作戦立案において非常に効果を発揮した。次年度も継続しデータの蓄積を行い、将来的には選手育成に活かせるデータバンクとしていく。

選手発掘においては、引き続き女子の新規選手の発掘が課題である。世界的にみると男子に比べ、女子パラテコンドーは選手レベル的に開拓の余地があり、パラリンピックでのメダル獲得の可能性も大いにある。スポーツ歴のある 10 代、20 代の女子選手を中心に、例年以上に積極的な選手発掘を行っていく。

また、長年にわたり制定されていなかったアスリートパスウェイの制作に着手した。
「FTEM」設定することにより発掘・育成・強化の基準になるものができ、我々が育て上げるべき理想のアスリート像、そしてそこに到達するため道筋が明確となった。

パリ 2024 パラリンピックに向けてのチャレンジは惨敗に終わった。この結果を、重く受け止めなければならない。と同時に、パラリンピックに至るまでの過程、準備、本大会での流れ、そしてパラチーム全体の一体感を経験できたことは選手にとってもスタッフにとってもかけがえのない財産となった。

多くの方に支えられ、挑戦できたパラリンピックの経験が無駄にしないために、2028 年のロサンゼルスパラリンピックでは必ずメダルを獲得する。

2. 競技会事業（競技委員会）

1 委員会の開催 計 13 回

2 実施大会

- ・第 18 回全日本選手権、第 8 回全国少年少女選抜選手権大会については、JSC スポーツ振興基金助成（スポーツ団体大会開催助成）を受けて実施した。
- ・第 17 回全日本ジュニア選手権大会については、一般社団法人さいたまスポーツコミッションスポーツイベント開催助成を受けて実施した。

第 18 回全日本選手権大会西日本地区大会（兵庫県）	【シニア 53 名 ジュニア 166 名】
第 18 回全日本選手権大会東日本地区大会（山梨県）	【シニア 50 名 ジュニア 102 名】
第 17 回全日本ジュニア選手権大会（埼玉県）	【キョルギ 386 名 プムセ 54 名】
第 18 回全日本学生選手権大会（東京都）	【キョルギ 80 名 プムセ 11 名】
第 8 回全日本社会人選手権大会（東京都）	【キョルギ 37 名 プムセ 1 名】
第 6 回全日本マスターズ選手権大会（東京都）	【キョルギ 20 名 プムセ 16 名】
第 18 回全日本選手権大会（愛知県）	【キョルギ 129 名 パラ 13 名】
第 18 回全日本プムセ選手権大会（神奈川県）	【69 名 パラ 3 名】
第 4 回全日本プムセ新人大会（神奈川県）	【9 名】
第 9 回全国少年少女選抜大会（兵庫県）	【キョルギ 109 名 プムセ 22 名】

3 課題等

全日本ジュニア大会での、留年する高校生の扱いについて議論が必要
学生大会での団体得点に変更について

3. 審判事業（審判委員会）

1 事業の実施

- ① 実施した事業：2024 年度 オンライン審判講習会（キョルギ）（オンライン）
日時：2024/7/21(日) 9:00 - 18:00
講師・スタッフ数：齋藤 智、中野 哲史・2 名
参加者数：17 名
実施内容：キョルギ審判講習会（座学）
- ② 実施した事業：2024 年度 対面審判講習会（キョルギ）（九州 / 福岡）
日時：2024/9/29(日) 9:30 - 17:00
場所：福岡県テコンドー協会 筑豊支部
講師・スタッフ数：齋藤 智・1 名
参加者数：10 名
実施内容：キョルギ審判講習会（実技）
- ③ 実施した事業：2024 年度 対面審判講習会（キョルギ）（関西 / 姫路）
日時：2024/11/3(日) 9:00 - 17:00
場所：姫路市環境局 環境ふれあいセンター
講師・スタッフ数：齋藤 智・1 名
参加者数：13 名
実施内容：キョルギ審判講習会（実技）
- ④ 実施した事業：2024 年度 オンライン審判講習会（キョルギ / IVR のみ）（オンライン）
日時：2024/11/24(日) 9:00 - 12:00
講師・スタッフ数：齋藤 智・1 名
参加者数：16 名
実施内容：キョルギ審判講習会（座学）
- ⑤ 実施した事業：2024 年度 オンライン審判講習会（プムセ）（オンライン）
日時：2025/2/2(日) 9:00 - 18:00
講師・スタッフ数：齋藤 智・1 名
参加者数：34 名
実施内容：プムセ審判講習会（座学）
- ⑥ 実施した事業：2024 年度 オンライン審判講習会（キョルギ）（オンライン）
日時：2025/2/16(日) 9:00 - 18:00
講師・スタッフ数：中野 哲史、西村紀幸・2 名
参加者数：23 名
実施内容：キョルギ審判講習会（座学）

⑦ 実施した事業：Japan Poomsae Training Camp

日時：2025/3/29(土) 9:00 - 18:00

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

講師・スタッフ数：Dr. Jun Cheol YOON、齋藤 智・2名

参加者数：34名

実施内容：プムセ実技及びルール講習会（座学・実技）

⑧ 実施した事業：全日本テコンドー協会主催 キョルギ及びプムセ各種競技会及び各種日本代表選考会への審判の派遣（大会審判員、計量、インスペクション、前日審判トレーニング等）

- A) 2024年6月2日：第18回全日本選手権／第17回全日本ジュニア選手権 西日本地区大会（兵庫県立武道館）
- B) 2024年6月16日：第18回全日本選手権／第17回全日本ジュニア選手権 東日本地区大会（山梨市民総合体育館）
- C) 2024年7月27~28日：JOC ジュニアオリンピックカップ 第17回全日本ジュニア選手権大会（埼玉県 サイデン化学アリーナ）
- D) 2024年8月7日：世界ジュニアテコンドー選手権大会選考試合（愛知県武道館）
- E) 2024年9月15日：第18回全日本学生選手権（中野区立総合体育館）
- F) 2024年9月15日：第6回全日本マスターズ選手権大会（中野区立総合体育館）
- G) 2024年9月15日：第8回全日本社会人選手権（中野区立総合体育館）
- H) 2024年9月16日：第1回ヴァーチャルテコンドー世界選手権代表選考会（Japan Sport Olympic Square）
- I) 2024年10月20日：第18回全日本プムセ選手権（神奈川県立武道館）
- J) 2024年10月20日：第8回全日本パラプムセ選手権（神奈川県立武道館）
- K) 2024年10月20日：第4回全日本プムセ新人大会（神奈川県立武道館）
- L) 2024年12月8日：第18回全日本選手権大会（愛知県武道館）
- M) 2025年3月2日：第9回全国少年少女選抜選手権大会（兵庫県立武道館）

⑨ 実施した事業：各種国際大会への審判派遣（JOC 国際審判員養成プログラム 2/3 助成, 1/3 個人負担）

***JOC 令和6年度選手強化NF事業補助金を受けて実施（一部を除く）**

- A) 2024年4月：Pan American Qualification Tournament for Paris 2024 Olympic Games（Santo Domingo, Dominican Republic）
派遣審判員：齋藤 智、友野 壽美
- B) 2024年7月：Chuncheon 2024 World Taekwondo World Cup Team Championships Series / G-4（Chuncheon, Korea）
派遣審判員：高橋 大輔
- C) 2024年10月：Chuncheon 2024 World Taekwondo Junior Championships / G-4（Chuncheon, Korea）

派遣審判員：友野 寿美

D) 2024 年 11 月：Hong Kong 2024 World Taekwondo Poomsae Championships / G-8
(Hong Kong, China)

派遣審判員：友野 寿美

E) 2024 年 12 月：Wuxi 2024 World Taekwondo Grand Slam Challenge / G-2 (Wuxi, China)

派遣審判員：齋藤 智

F) 2024 年 12 月：Wuxi 2024 World Taekwondo World Cup Team Championships Final / G-8
(Wuxi, China)

派遣審判員：齋藤 智

⑩ 実施した事業：各種国際大会への審判派遣（全額個人負担 もしくは OC 負担）

G) 2024 年 5 月：26th Asian Taekwondo Championships / G-4 (Da Nang, Vietnam)

派遣審判員：高橋 大輔、森 顕

H) 2024 年 5 月：9th Asian Para Taekwondo Open Championships / G-4/G-2 (Da Nang, Vietnam)

派遣審判員：高橋 大輔、森 顕

I) 2024 年 5 月：28th Asian Taekwondo Poomsae Championships / G-4 (Da Nang, Vietnam)

派遣審判員：森 顕

J) 2024 年 7 月：2024 Chuncheon Korea Open / G-2 (Chuncheon, Korea)

派遣審判員：中野 哲史

K) 2024 年 8 月：Paris 2024 Olympic Games / G-20 (Paris, France)

派遣審判員：齋藤 智

L) 2024 年 10 月：Kasad 6th Asian Taekwondo Open Championship 2024 / G-2
(Tangerang, Indonesia)

派遣審判員：中野 哲史

⑪ 実施した事業：WT Kyorugi & Poomsae IR Refresher Course 受講

A) 2024 年 7 月：53rd International Poomsae Referee Refresher Course (Daegu, Korea)

受講者：友野 寿美

B) 2024 年 11 月：147th International Kyorugi Referee Refresher Course / International Referee Seminar (Jakarta, Indonesia)

受講者：齋藤 智、高橋 大輔、友野 寿美、中野 哲史、西村 紀幸、門野 真、高木 伸幸、萩原 真

C) 2024 年 11 月：55th International Poomsae Referee Refresher Course (Jakarta, Indonesia)

受講者：齋藤 智

実施したその他事業：

(ア)2024 年 6 月：コーチセミナーへの講師派遣

(キョルギ競技ルール、計量、インスペクション等について)

(イ)2024 年 9 月：ATU プムセセミナーでのサポート業務

(ウ)2025 年 2 月：Combaxx 7th Asian Taekwondo Open Championships (Islamabad, Pakistan)

大会役員派遣/ Competition Supervisory Board (CSB): 齋藤 智

2 総括

2024 年度は、ここ 3 年間の活動の集大成とも言えるパリオリンピックを無事に終えることができ、非常に意義深い一年となった。日本からは、前回の東京オリンピックに続き、齋藤審判委員長が厳しいセレクションを勝ち抜き、世界で 26 名のみ選出されるオリンピック審判員の一人としてパリ大会に派遣され、テコンドー競技の第 1 試合目においてセンター・レフリー（CR）を務め、また女子-67kg 決勝戦ではレビュー・ジュリー（RJ）としても活躍し、World Taekwondo（WT）からの高い信頼と評価を再確認する機会となった。これらの国際的経験から得た知見や最新の運用ルール、判定基準などは、国内での審判講習会に積極的に反映され、日本の審判員全体の技術向上と意識の刷新に大きく寄与した。

さらに、友野・高橋・森・中野の 4 名が WT および ATU（アジアテコンドー連合）主催の上位国際大会へ招集され、それぞれの大会で得た貴重な経験と情報は、国内の審判育成においても大いに活用されている。

国内においては、昨年度に引き続きオンライン審判講習会を実施するとともに、九州および関西地域にて対面形式の講習会も実施することができ、対面講習では、オンラインでは指導が難しい実技面に重点を置いた指導を行い、参加者からも高い評価を得られた。

各地でオープン大会が徐々に再開されており、今後さらに審判員が実践的な経験を積める場が増えることが期待される。

また、特に、AJTA 主催大会の前日に開催される審判トレーニングは、実践的な復習と調整の場として定着しており、今後も更なるレベルアップに資する重要な機会となると考え実行していく。

3 課題等

1. 対面審判講習会の実施における課題

対面形式での審判講習会は、実技を伴う指導において極めて重要な位置づけにありますが、その開催にあたっては、大会運営と同様に会場の確保が大きな課題となっている。各都道府県協会によっても、理解や関心に温度差があり、地域によっては講習会開催の調整が難航するケースもある。

2. 教育機会の拡充と参加促進

AJTA では年 1 回の審判講習会受講を義務付けているが、それだけでは十分な技術習得・向上にはつながりにくい状況である。そのため、2024 年度からは大会前日に実施される審判トレーニングへの参加を促進し、オリンピックや主要国際大会での経験を持つ上位審判員による直接指導の機会を提供しているが、参加者数が依然として限定的であるため、更なる啓発と意識向上が必要と考えられる。

3. 公認審判員の減少と業務負担の増加

- ① AJTA 公認審判員の登録数は横ばいもしくは減少傾向にあり、特に経験を積んだベテラン審判員の離脱が目立つ。一方で、県大会やオープン大会の開催が増加する中、有資格者による審判体制の維持が困難になりつつある。
- ② 審判員の人数が限られる状況では、1 大会あたりの担当試合数が増加して、休憩時間が十分に確保できない事例も発生しており、その結果、集中力の低下による判断ミスが生じやすくなるなど、競技運営の質にも影響が出、これが審判員自身の精神的負担をさらに重くするという悪循環に陥っている。
- ③ また、競技会のライブ配信や映像記録の増加に伴い、審判員が過度な緊張を強いられる場面が

増えており、ミスジャッジが発生した際には SNS 等での過剰な批判にさらされるケースも確認されている。

これにより、新人審判員が大会参加をためらう傾向も見られ、育成・確保の障害ともなっている。地域のオープン大会や撮影を伴わない大会の実施環境が確保されることは、心理的な負担を軽減し、安心して活動できる場の提供という観点からも重要である。

- ④ 近年、暴言・ハラスメント、SNS 上での誹謗中傷といった問題への対応について一定の議論が始まっているものの、現場において「守られている」と実感できる水準には至っていない。審判員の多くはボランティア精神のもとで活動しており、その社会的意義と責任の重さに見合う尊重と理解が必要である。

競技大会を安定的に実施するには、新たな審判員の育成と確保が不可欠である。

そのためには、教育体制の充実とともに、現場で活動する審判員が精神的にも安心して臨めるような環境整備が求められる。現時点では、こうした保護体制が十分に機能しているとは言えず、このままでは現役審判員の離脱が進み、競技大会の円滑な開催そのものに支障をきたす可能性も高まっている。

共通理解の醸成に向けた取り組みも模索すべきである。

- ⑤ 一方で、資格の未更新者がオープン大会などで審判を務めている可能性も否定できず、今後は審判資格の更新状況の正確な把握と、資格者管理の徹底も必要である。

4. 昇段審査事業（昇段審査委員会）

1 会議の実施について 実施回数：3回

① 第1回

日時：2024年5月12日（日）10:00～11:00

内容：高段位受検者の申請について

② 第2回

日時：2024年8月12日（月）10:00～11:00

内容：①各都道府県協会における昇段審査のあり方について

②段位登録者の管理について

③ 第3回

日時：2025年1月20日（月）17:00～18:00

内容：①昇段審査の審査料と申請料について

②次年度の昇段審査とセミナーについて

2 事業の実施

〔昇段審査事業〕

① 3段昇段審査会（関東ブロック）

日時：2025年1月26日（日）

場所：炫武館 本部道場

合格者 3 名

② 3 段昇段審査会（中部・東海ブロック）

日時：2025 年 2 月 16 日（日）

場所：三好公園総合体育館

合格者 4 名

③ 3 段昇段審査会（関西ブロック）

日時：2025 年 3 月 23 日（日）

場所：菅北福社会館

合格者 7 名

〔セミナー事業〕

① 基本動作セミナー（関東ブロック）

日時：2025 年 1 月 26 日（日）

場所：炫武館 本部道場

受講者 6 名

② 基本動作セミナー（関西ブロック）

日時：2025 年 3 月 23 日（日）

場所：菅北福社会館

受講者 16 名

5. 普及・広報・マーケティング事業（普及戦略委員会）

- 1 今年度より、人材不足の中、一時的に各委員会の業務を集約・実行する新委員会を設立し、各業務運営の効率化を図り、しっかりと結果に結び付けていく体制作りを行うことを目的に、「マーケティング」「普及」「広報」を担当する普及戦略委員会を新設した。

業務内容は、

- マーケティング部門（既存・新規スポンサー対応、クラウドファンディングの企画など）
- 普及部門（学連との連携、AJTA 公式大会における動画配信時の解説、イベント対応など）
- 販促部門（全日本ジュニア選手権大会記念 T シャツの販売、その他販促品の企画など）
- 広報部門（取材、マスコミ対応、SNS 発信など）

なお、SNS に関しては公認する「Japan Taekwondo」において多数の発信がなされた。

2 活動報告

A) マーケティング部門

① 既存スポンサー

I. 大会来賓実績

- | | | |
|------------|--------------------------|----|
| ● YK アクロス様 | 第 17 回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会 | 観戦 |
| | 第 18 回 全日本テコンドー選手権大会 | 観戦 |
| ● 城北信用金庫様 | 第 18 回 全日本テコンドー選手権大会 | 観戦 |

II. 2024 年度活動／2025 年度活動計画の報告、次年度スポンサー継続交渉

② 新規スポンサー営業

2024 年度、9 社へ新規折衝を試みたが、新規スポンサー獲得までにはいたらなかった。

③ 経営支援 E X P O 2024 への参加

- | | | |
|-----|-----------------------------------|-----------|
| 日 時 | 2024 年 10 月 1 日（火） | 10 時～17 時 |
| 場 所 | 東京ビッグサイト（スポーツ庁「障害者スポーツ支援 P J」ブース） | |
| 参加者 | 阿渡健太ほか委員 | |
| 目 的 | パラテコンドーの企業アピール | |
| 結 果 | ブースを訪れた 6 社と面談／パラテコンドーのデモ実施（2 回） | |

B) 普及部門

① 目黒区イベント／イベント内容立案～実施対応

- | | |
|----------|--|
| 実施日 | 2025 年 2 月 9 日（日） |
| 場 所 | 目黒区中央体育館 |
| イベント名称 | 2024 年度目黒区イベント「テコンドー体験会」 |
| イベント参加人数 | 66 名 |
| 参加者 | オリンピック、パラリンピアン
選手（2024 年度シニア強化指定選手、デモ対応選手）
各委員会（強化-パラ、学連、普及戦略） |

② 全日本ジュニアテコンドー選手権大会 記念 T シャツ販売 105 枚（前年度 97 枚）

C) 広報部門

① NHK 番組「明鏡止水」／収録対応

- | | |
|----------|------------------------------|
| 放送日 | 2024 年 6 月 5 日（水）23:00～23:30 |
| 制作・著作 | NHK、NHK エデュケーショナル |
| 番組名 | 明鏡止水 ～武の五輪～ |
| AJTA 演武者 | 鈴木セルヒオ、東島星夜 |

② 2024 パリパラリンピック 日本代表選手団 団結式／参列

実施日 2024 年 7 月 16 日（火）
場 所 帝国ホテル東京本館 2 階 「孔雀の間」
主 催 公益財団法人日本パラスポーツ協会、JPC

③ 2024 パリパラリンピック パラテコンドー競技 日本代表選手団 壮行会

実施日 2024 年 8 月 22 日（木）
場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター

④ 2025 デフリンピック / 解説デモンストレーション対応

実施日 2024 年 9 月 14 日（日）
場 所 中野区立総合体育館（第 18 回 全日本学生選手権大会）

⑤ 第 1 回 世界ヴァーチャルテコンドー選手権大会 日本代表選考会

実施日 2024 年 9 月 16 日（月祝）
場 所 岸メモリアルホール 3（Japan Olympic Square 14 階）

⑥ 第 18 回 全日本テコンドー選手権大会 / LIVE 配信解説業務

⑦ 韓国メディア / 取材対応

メディア名 Inside TKD 社（韓国）
取材対象者 川原会長

3 総括

従来、対応が不十分であった部門を統合した「普及戦略委員会」を設置したことで、普及・広報・マーケティングの情報を受け入れる体制が整い、上記活動成果を出せた一方、情報量に対しての人員不足による未対応の改善を早急に図る必要がある。

次年度は、まず人材確保を急務としつつ、且つ新競技「ヴァーチャルテコンドー」を活用し、新たな業種の企業への新規アプローチを積極的に行うことを目標とする。

6. 医科学関係（医科学委員会）

1 事業の実施

- ① 主催大会、選考会のすべてに、医師・トレーナーを派遣した。
- ② 強化合宿・海外遠征等に、トレーナー派遣を行った。
- ③ パラキョルギについて、全日本選手権時に、国内クラス分けを実施した。
- ④ メディカルスタッフの報告会を行い、テコンドーにおける医科学問題について、それぞれのスタッフの考える課題や検討事項の報告を行った（2025 年 2 月 2 日）。強化スタッフ等の参加も可とした。

2 総括

協会主催大会の医事運営および医療スタッフの手配を行った。また強化合宿におけるトレーナー派遣を行なっている。

また、年間を通して傷害発生管理についての取り組みを行い、引き続き解析を行なっていく方針である。

大会におけるマウスガード、脳震盪等の問題について、引き続き検討を行う。

7. アンチ・ドーピング（アンチ・ドーピング委員会）

*アンチ・ドーピング活動に関しては、JSC「スポーツ振興くじ助成」の助成対象事業として実施した。

1 事業の実施

① 第18回全日本選手権大会 JADA ドーピング検査 対応

② アンチドーピングセミナー 全4回

日時：2024.4.27(プムセ)

2024.9.8 (パラ)

2024.11.2 (シニアキョルギ)

2025.3.10 (ジュニアカデットキョルギ)

講師：当協会 JADA 承認 Educator 山本衛

実施内容 アンチドーピング教育

③ アウトリーチ

全日本学生選手権大会、全日本社会人・マスターズ選手権大会

日 時 2024年9月15日

対 象 選手・指導者

来訪者数 約42名

2 総括

アンチ・ドーピングに関する事業は、おおむね例年通り実施した。

昨年より、JADA 承認 Educator 制度の運用が開始され、これに基づいて研修を実施した。

また、上記以外の活動として、昨年より、強化委員会や医科学委員会と連携し、強化指定選手全員に使用している薬品とサプリメントを報告してもらい、使用に問題はないかのチェックを始めた。アンチ・ドーピング委員会のメンバーで報告のあった薬品やサプリメントを調べ、必要に応じて個別に連絡をとって、違反のリスクを最小限にしようとする試みである。

8. 大学テコンドー（学連委員会）

1 会議の実施 合計8回

- 1) 2024年6月18日
- 2) 2024年7月24日
- 3) 2024年8月28日
- 4) 2024年9月24日
- 5) 2024年10月30日
- 6) 2024年11月12日
- 7) 2025年1月27日
- 8) 2025年2月25日

2 事業の実施

- 1) 全日本学生選手権時におけるアウトリーチ活動 スタッフ2名
- 2) 学連ブースの実施
 - a) 全日本選手権大会 参画大学数 3校
 - b) 全日本少年少女大会 参画大学数 6校

3 総括

4月に新人戦を実施するための意識調査を実施したが、回答数が少なく参考にならない結果に終わった。

学生選手権のライブ配信における、実況・解説者の配置が UNIVAS ではなくなり、協会負担となることから、実施に向け協議を重ねたが実施が叶わなかった。来年度は実施できるようローコストでの実施を検討していきたい。

アウトリーチ活動でドーピングにおける認知向上支援を実施した。また、学連委員会の認知度向上活動も実施した。

学連ブースは、大学がチラシや大学案内などを開示し、ジュニア世代への大学テコンドーサークル・部活の認知度向上活動を目的としている。スカウト目的ではなく、テコンドーを続けたい方の知見や可能性を広げるために今後も継続していきたい。

大学生が会場で説明をする機会はまだ少ないため、ジュニア選手や保護者が情報を取れるように改善を行っていきたい。

5月、7月に大学生を集め、合同練習会を試験的に実施した。ファシリテートや練習内容の監修を実施。大学生からも、こういった機会交流を持つこと事態がモチベーションにつながるや、合同合宿も将来的にはやりたい、との意見も出ていた。

9. アスリート委員会

1 会議の実施について

実施回数 : 2回

第1回目

日時 : 2024年5月2日(土) 18:00~19:00

内容：①パリパラリンピックを盛り上げる企画について

第2回目

日時：2025年3月2日（日）10:00～11:00

内容：①今年度の振り返りと来年度の活動について

2 事業の実施

- ① 実施した事業：パリパラリンピックに向けた選手たちの様子を協会公認Instagramに投稿

日時：2024年6月4日～9月1日

投稿回数 16回

実施内容：協会公認Instagram（JAPAN_TAEKWONDO）と協力して、2024パリパラリンピックに内定している田中選手と工藤選手を中心に、パラチームが本番まで奮闘しながら準備していく様子を発信する。競技関係者や一般の人がみんなでパラテコンドーを応援できるよう、SNSで使えるハッシュタグ#今年の夏はパラテコンドーを応援しようを提案し呼びかけた。

- ② 実施した事業：The 2nd JOC Athlete's Forum への参加

日時：2025年2月16日 13:00-18:45

場所：Japan Sport Olympic Square 14階 岸清一メモリアルルーム

参加者：濱田・鈴木

実施内容：NF アスリート委員として初めて参加した今回のフォーラムは、他のアスリート委員会の活動報告や協会運営についての成功事例など、今後の委員会運営についての手掛かりを多く得ることができた。また他のNF委員会と関わる機会になるため、来年度以降も積極的に参加していきたい。

3 総括

Instagramを使用することで、パラチームの大会までの様子を誰でも見られるようになり、応援してもらえる機会が増えるとともに、パラテコンドーの普及やパリパラリンピックへの関心も得られた。所属やパラ強化チーム、サポータースタッフそしてInstagram管理者の連携・協力を得て、今回の事業を遂行できた。

4 課題等

SNSでの発信にあたり「パリ2024パラリンピック競技大会 日本代表選手団員等の知的

財産権・マーケティングガイドライン」に該当するかどうかを審議し、JPC への相談等を行いつつ、インスタグラムでの投稿を行ったが、細かな規定等の解釈が非常に難しいものであったため、ルールを遵守して発信することの重要性を再確認した。

また、アスリート委員会の本来の役割であるアスリートの意見の反映やアスリートの権利擁護についての活動を活性化するために必要なこと、委員会としてやるべきことを考えることも今後の課題といえる。活動を進めるにあたり、委員の人数の確保も必要である。(来年度からは2人体制となる)

そのうえ、協会が本委員会にどのような役割を期待しているのかを理解したうえで、今後の活動を進める必要もある。

10. コンプライアンス関係

* 1 及び 2 について、JSC「スポーツ振興くじ助成」の助成対象事業として実施した。

1 コンプライアンス相談窓口を運営し、1 件の調査案件があった。

2 コンプライアンス・インテグリティ研修の実施
インテグリティオフィサーが中心となって実施した。

3 処分規程に基づく裁定手続き
裁定委員会に回付された案件はなかった。

4 大会規律規程に基づく手続き
大会規律委員会の事案はなかった。

11. 総務

道場等登録の促しとして、連盟との統合に向けた活動を行った。

新たな登録、都道府県協会としての加盟・準加盟について、個別の相談に応じたり、審査などを行った。

ガバナンスコード適合性審査の年度であり、対応を行った。その結果、中長期計画の未策定について要改善事項と指摘されたが、2024 年度中に策定を完了している。

2024 年 10 月に自己説明をホームページに公表した。

また、JOC 加盟団体として、主催大会及び事務局内において、環境啓発・保全活動を行った。

12. 国際委員会

WT、ATU、国技院等との連携を図った。

また、2025 デフリンピック、2026 愛知名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向けて、各組織委員会対応も担当した。

13. その他

(1) コーチセミナーを実施し、延べ259名の参加があった。

以上